

高山で猿の追い払いを長期にわたって行っている事例というのはなかなかないものですから、そういった成果と今後の課題も含めて御報告いただきました。どうもありがとうございます。

6「クラウドファンディングによる長野県のライチョウ保護活動の紹介」

峰村 政輝（長野県自然保護課）



○座長(有山 義昭) それでは、時間もありますので、続きまして「クラウドファンディングによる長野県のライチョウ保護活動の紹介」ということで長野県自然保護課の峰村様に御発表いただきます。

なかなか行政で予算獲得が難しい場合、今はクラウドファンディングを組み合わせているんな事業を展開するというのが一般的になってまいりましたけれども、そういった県の取り組みを御紹介いただきたいと思います。

それでは、峰村様、よろしくお願いいたします。

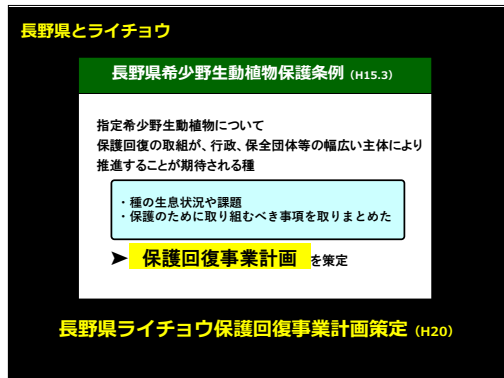
○峰村 政輝 ただいま御紹介にあずかりました長野県環境部自然保護課の峰村と申します。

長野県では、タイトルにありますとおり、クラウドファンディングを活用したライチョウ保護対策のほうを進めております。その事業の内容と、あとはクラウドファンディングを活用するに至った経緯、背景などを含めて御紹介させていただきます。よろしくお願いします。

まず背景からですけれども、皆さん御存じのとおり、長野県の県鳥としてライチョウはとてもシンボリックな存在であります。県民の誇りでありますし、こういったふうにキャラクターのモチーフになったりするなど、こちらは長野県教育委員会の学び応援キャラクターの信州なび助、こちらは知っている方が多いかもしれませんが、長野県警察のシンボルマスコットのライポくん、ライビィちゃんといったように、非常に親しみのある動物であります。

ただ、その一方、長野県版レッドリスト、こちらは県内の絶滅のおそれのある種を取りまとめたリストになりますけれども、2005年に公表されたときには絶滅危惧2類だったものが2015年のリストの改訂で絶滅危惧のランクが1つ上がって1B類になるなど、絶滅のおそれがあるというような状況です。

そして、そういった状況等を踏まえて、長野県には希少な動植物を保護することを目的とした長野県希少野生動植物保護条例というものがあまして、こちらは捕獲であったり生息地への立入りであったりを規制するなどして動植物を守ろうというような条例ですが、この中では特に保護を図る必要がある種として指定希少野生動植物に指定されております。



この条例の中では、指定野生動植物について、ライチョウのように保護回復の取り組みが行政であったり保全団体といった幅広い主体によって推進することが期待されている種については、種の生息状況であったり課題であったり、また保護のためにこうしてこうというような取り組みべき事項を取りまとめた保護回復事業計画というものを策定することができます。

長野県では平成20年度に長野県ライチョウ保護回復事業計画というものを策定して、これまで様々な保護対策を行ってきました。

これまでの保護の取組

ライチョウの生息状況等調査

近年調査されていない山域で生息調査

保護協力の呼びかけ

目撃情報の収集、登山マナーの周知

目撃情報の集積

例えばライチョウの生息状況などの調査であったり、目撃情報、登山者がライチョウを見つけた場合には報告してくださいと言ったりとか、あとは登山で生息環境を乱さないようにごみを出さない登山を呼びかけるなど、登山マナーの周知といったような保護協力の呼びかけをしてきたところであります。

課題

依然として絶滅の恐れのあるライチョウ

県版レッドリスト
絶滅危惧Ⅱ類 (H17) → 絶滅危惧ⅠB類 (H27)

一方で嬉しいニュースも

中央アルプスで約半世紀ぶりに雌ライチョウの確認 (H30)
→ 環境省による個体群復活の取組

保護対策を
・より一層推進するために
・継続していくために

行政、専門家のみならず、
登山者や観光客、市民等、支援の裾野を広げることが必要では？

こういった取り組みをしているのですが、冒頭に申し上げたとおり絶滅危惧ということで、絶滅のおそれがある状況でございます。

その一方でうれしいニュースもありまして、御存じのように中央アルプスで約半世紀ぶりに雌ライチョウの生息が確認されておりまして、これを契機に環境省さん主体で個体群の復活の取り組みがなされているところでございます。

そういったことで、絶滅のおそれがある一方で、より一層保護対策を推進していかなければいけない、また継続的に取り組んでいかなければいけないというところを鑑みて、やはりライチョウ保護対策は、行政とか専門家といった一部の人のみではなくて、例えば登山者、観光客、市民の皆さんといった支援の裾野を広げていくことが重要なのではないかと考えているわけでありまして。

目指す姿としましては、幅広い主体との連携によって社会全体で取り組むライチョウ保護ということで、これまで、こういった専門家であったり行政であったりというところでライチョウ保護をやっていたところに、登山者の協力ですとか、もっと広い県民の皆さんの協力ですとか、そういったものと連携して、こういったライチョウを大切に思う人たちが、まさに肩を組むように、スクラムを組むようにライチョウ保護に取り組んでいこうということで、長野県では令和2年度からライチョウ保護スクラムプロジェクトというふうに銘打ってライチョウ保護対策に取り組んでいるところであります。

県の新たな取組

目指す姿

幅広い主体との連携により社会全体で取り組むライチョウ保護

ライチョウを大切に思う人たちが
スクラムを組んでライチョウ保護に取り組む

ライチョウ保護スクラムプロジェクト (R2～)

クラウドファンディングでライチョウ保護を！

保護活動の資金をクラウドファンディングで募集

▶ 寄付という方法で 全国どこからでもライチョウ保護に協力 できる

クラウドファンディング寄付実績

年度	目標額 (円)	寄付金 (円)	寄付人数
R2	2,700,000	4,939,300	335人
R3	2,000,000	7,752,575	378人
計	—	12,691,875	713人

寄付者の居住地割合

長野県外 61% 長野県内 39%

寄付者の声

- 少しでも雪鳥の保護に役立てば嬉しいです。
- 住まいが遠い為に活動のお手伝いはできないけれど、この寄付が少しでも役立てばと思います。
- 長野県の宝「雪鳥」の保護をお願いいたします。

そこで出てくるのがクラウドファンディングでライチョウ保護をということなんです。

クラウドファンディングというのは、インターネットを通じて取り組みなどを発信して、そこに御賛同いただける方から資金等の御寄附をいただくという仕組みになります。

この仕組みを使うことで、例えばライチョウ保護のまさにその現場に行けないような方々でも寄附という方法で全国のどこからでもライチョウ保護に協力できるということで、令和2年度からはクラウドファンディングという仕組みを使って保護対策を実施しております。

こちらはクラウドファンディングの寄附の実績になりますけれども、令和2年度は目標額270万円に対して御寄附いただいたのが490万円以上、そして

令和3年度に至っては目標額の200万円に対して寄附額が700万円以上、この2年間で合計1,200万円以上もの非常に多くの御寄附をいただきました。

また、この会場にも御寄附いただいた方はいらっしゃるかと思いますけれども、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます

ざいます。

寄附者の居住地の割合を見ても、長野県内に在住の方は全体の約4割、そして長野県外に在住の方は6割ということで、県外の方からも非常に大切に思われている動物だということが非常によく分かります。

コメントを見ましても、少しでも保護に役立てばということであったり、長野県の宝のライチョウの保護をお願いいたしますということであったり、本当に大切にされていることがよく分かります。

クラウドファンディング活用事業

(1) ライチョウ保護高度技術者の養成

- ライチョウのヒナを悪天候や天敵などから守る「**ケージ保護**」に従事できる人材の養成（15名養成：R2～R4）
- 環境省の中央アルプスにおけるライチョウ復活事業と連携



では、クラウドファンディングを活用してどのような事業をしているかというところを御紹介させていただきます。

まず1つ目はライチョウ保護高度技術者の養成ということで、こちらは環境省さんのほうとも連携させていただいておりまして、中央アルプスでライチョウ個体群の復活の取り組みがなされているところでありますけれども、その手法の1つとしてケージ保護が行われています。ケージ保護に従事できる人材の養成ということで、実際にケージ保護が行われている現場に研修生ということで参加していただいて、講師の指導を受けながら保護の手法であったりライチョウの生態等であったり、いろんなことを学んでいくというような事業になります。

令和2年度から令和4年度までの3年間で15名を養成いたしました。

これはその様子ですが、先ほどの杉本さんのほうからその手法について教えてもらって、実際にこちらはライチョウを見守っている様子です。ケージの外に出して散歩させているライチョウを捕食者が来ないか見守るとか、餌のあるほうに誘導するというようなことをやっております。

養成した技術者による作業日数としては3年間で173日間ということで、現在には100羽以上一先ほど中村先生のほうの話ではちょっと100羽を切っているということでありましたけれども、こちらは参照しているのが8月15日時点の環境省さんのほうの発表でして、100羽近くということですかね、生息しているというような状況になります。

クラウドファンディング活用事業

(1) ライチョウ保護高度技術者の養成



養成した技術者による
作業日数 **延べ173日間**

中央アルプスには
100羽以上のライチョウ が生息
（環境省 保護自然環境事務所8/15報道発表）

クラウドファンディング活用事業

(2) ライチョウ目撃情報投稿アプリ「ライボス」

- ライチョウの目撃情報をスマートフォンから投稿できるアプリ「**ライボス**」を開発
- 登山者の協力を得ながら広く目撃情報を収集



目撃した現場から
目撃情報を手軽に投稿♪

〇月×日
ライチョウ メス 1羽…

- ・1年間でおおよそ400件の目撃情報をいただきました。（運用前は約150件）
- ・Googleplay 又は AppleStore からインストール

2つ目のクラウドファンディングの活用事業といたしましては、ライチョウ目撃情報投稿アプリ、ライボスの開発でございます。

こちらは、ライチョウの目撃情報をスマートフォンから手軽に投稿できるアプリ、ライボスというものを開発いたしました。スマートフォンアプリということで、見かけたその場でライチョウの写真を撮って、その場から投稿できるというものになっておりまして、登山者などの皆さんの協力を得ながら広く目撃情報を収集していこうということで開発したところであります。

こちらを開発して1年間でおおよそ400件の目撃情報をいただいております。こちらを運用する前はメールやファクスで目撃情報の報告をいただいていたのですけれども、利用前は年150件だったものが年400件ほどということで、たくさんの目撃情報をいただいております。

こうした目撃情報も今後のライチョウ保護対策を実施していくためのデータとして活用させていただきたいなというふうに思っています。

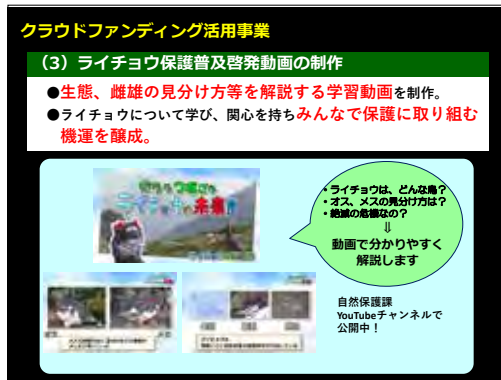
クラウドファンディング活用事業

(2) ライチョウ目撃情報投稿アプリ「ライボス」



ライチョウに関する
解説WEBページとリンク

ライボスですけれども、目撃情報を投稿できるだけではなくて、ライチョウってどういう動物なのかとか、ライチョウの生態であったり、ライチョウとほかの鳥類の見分け方だったり、ライチョウについて学べるウェブサイトともリンクしておりまして、ライチョウについて学んでいただけるアプリになっております。



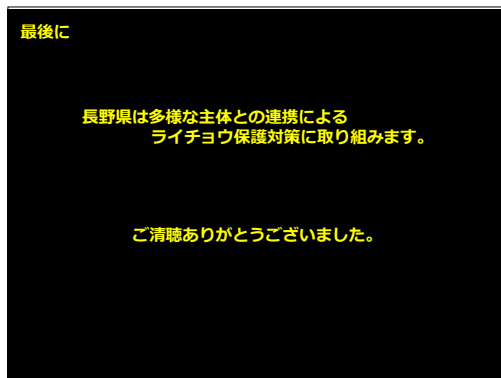
非常に分かりやすく解説している動画になりますので、ぜひ御覧いただければというふうに思います。こちらは長野県自然保護課のユーチューブチャンネルのほうで公開しているところであります。

これら3つ御紹介しましたのがクラウドファンディング活用事業というところでありますけれども……。



こちらはライコちゃんといましてライチョウをモチーフにしたキャラクターになるのですけれども—このグッズの売上げの一部を御寄附いただいています。

こういったように企業様との連携しながらライチョウ保護を進めているところであります。



3つ目のクラウドファンディングの活用事業としましては、ライチョウ保護普及啓発動画の制作ということでもあります。

こちらは、スクラムプロジェクトということで幅広い皆さんと連携、協力してライチョウ保護を推進していくに当たって、まずライチョウについて知っていただきたいということで、その生態であったり、先ほどの雌雄の見分け方であったりを解説する学習動画を製作しています。こういったことでライチョウに関する基礎知識がない方でもライチョウについて学んで興味を持っていただいて、みんなて保護に取り組む機運を醸成していきたいということで制作しております。

こちらの動画ですけれども、実際のライチョウの動く映像ですとか、あとは今回いらっしゃいます専門家の中村浩志先生にも解説などをいただいて、

幅広い主体との連携ということで企業とも連携してライチョウの保護対策を進めているので、ちょっと御紹介させていただきます。

長野県のほうには生物多様性保全パートナーシップ協定という制度がありまして、こちらは保全活動に企業ですとかいろんな方の参画を促して社会全体で生きものの保全を推進していこうというような協定制度になっております。

こちらの事例を見ますと、例えばサッポロビールさんと協定を結んでおりまして、サッポロビールさんのほうで年に1回ほどこういった信州環境保全応援という限定ラベルのサッポロ生ビール黒ラベルを販売しておりまして、その売上げの一部を御寄附いただいています。

こちらのコシダテック様、KMC北関東様という企業ですけれども、バイク用品の販売をしている企業になります。その店舗でのPRキャラクター—

長野県では、クラウドファンディングですとか企業様との連携ですとか、多様な主体との連携によって保護対策を進めております。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

御清聴ありがとうございました。(拍手)

○座長(有山 義昭) 峰村様、ありがとうございました。

長野県の取り組みといたしましてクラウドファンディングの3つの事業、あとは企業との連携等々もお話しいただきまして、ありがとうございます。

7 「中央アルプスにおける山岳信仰について」

小池 勝典(宮田村教育委員会文化財担当係長)

○座長(有山 義昭) それでは、最後の発表になります。

最後は「中央アルプスにおける山岳信仰について」ということで宮田村教育委員会の小池様からお話しいただきます。

文化的な部分での発表というのは唯一ですので、聴講をお願いしたいと思います。

なかなか歴史的資料をいろいろひもいって当時の生息地の背景とかライチョウがいたという情報というのも重要な要素かと思しますので、そういった視点も含めてお話しいただくような流れになります。どうぞよろしく願いいたします。

